

問2 a ――について、正しいものを選びなさい。 No. 7

ア うどんこ病は、ウイルスの一種が原因で葉に白い斑点ができる。

イ モザイク病は、カビの伝染が原因で葉や花びらにモザイク状の模様ができる。

ウ オオタバコガは、ヤスリ状の口で葉を削り取るように食い荒らす。

エ アブラムシは、作物から栄養分を奪いウイルス病を伝染する。

問3 b ――について、正しくないものを選びなさい。 No. 8

ア 植物の成長期に行うかん水は、午前中の早い時間がよい。

イ かん水は、水が団粒構造の中を通過することで、余分な水を下に抜けさせ、その後に新鮮な空気が入るので行った方がよい。

ウ 底面かん水は、種が小さくて流れてしまう場合に行うとよい。

エ かん水をするときは、花や葉にかかるようにし、初めに出る水滴は土をえぐらないようにシャワー状にするのがよい。

第4問 次の中学校学習指導要領解説（平成29年7月）「技術・家庭編」の一部を読み、問1、問2に答えなさい。

動物の飼育では、飼育する動物の性質や習性、食性、生理や発育の状況などについて考慮する必要があることや、目的に応じた最適な飼料の選択や給餌、給水、糞尿の処理等の管理作業、気温や採光、換気等の育成環境を調節する技術があることを理解させる。

問1 a ――について、正しくないものを選びなさい。 No. 9

ア アルファルファは、アルカリ性のやや乾燥した土壌を好むため、採草用として利用されている。

イ シロクローバは、イネ科の牧草の中ではタンパク質やミネラルの含有率が高く、主に採草用として利用されている。

ウ チモシーは、イネ科牧草の中では耐寒性が最も強い草種に属し、主に採草用として利用されている。

エ オーチャードグラスは、耐寒性が強く比較的耐暑性があるため、採草用及び放牧用の両方に利用されている。

問2 b ――について、正しいものを選びなさい。 No.10

ア 採卵鶏は、夜行性なので、鶏舎内を常に暗くする必要がある。

イ 牛は、暑さで体温が上昇しやすいため、牛舎内の温度管理をする必要がある。

ウ 豚は、汗腺があり体温調節できるため、豚舎内の温度管理をする必要がない。

エ 採卵鶏は、室温による採卵量に差がないので、鶏舎内の温度管理をする必要がない。

第7問 情報セキュリティと情報モラルについて、次の文章を読み、問1～問3に答えなさい。

社会では、インターネットによる世界的規模のサイバー空間（仮想的な空間）が広がるなど、情報の技術は、私たちの生活をととても便利にしています。その一方で、個人情報や機密情報の漏えいや改ざん、不正プログラムによる被害や犯罪など、情報の技術に関する新しい問題も増大しています。

。情報を安心・安全に利用するための技術や対策を情報セキュリティといいます。

情報セキュリティを実現するためには、許可されている人だけが利用できるようにすること（ 1 ）、情報が正確で、改ざんされていないこと（ 2 ）、必要なときに利用できること（ 3 ）の3つの要素が必要になります。

また、インターネットなどの発達により、いつでもだれでも手軽に情報を受け取ったり、発信したりすることが可能な情報社会になりました。情報社会では、_b 情報モラルを守り、情報の発信者としての責任を果たすことが大切です。

問1 a ――の例について、正しくないものを選びなさい。No.16

- ア ウイルス対策の技術には、電子メールやUSBメモリなどからのウイルスを検知し、感染を防ぐものがある。
- イ SSL通信の技術には、テキスト中のキーワードや怪しいアドレス、URLの情報などを識別して、問題のあるメールやWebページなどを制限するものがある。
- ウ 暗号化の技術には、情報を規則に従って組み換え、権限のある人以外は利用できなくするものがある。
- エ バックアップの技術には、情報を複製し、ハッキング攻撃を受けたときや機器が壊れたときの被害を小さくするものがある。
- オ IDやパスワードの技術には、IDで情報や機器の利用者を識別し、パスワードで本人の認証をするものがある。

問2 空欄1～3に当てはまる語句の組合せとして、正しいものを選びなさい。No.17

- | | | | |
|---|-------|-------|-------|
| ア | 1－可用性 | 2－機密性 | 3－完全性 |
| イ | 1－可用性 | 2－完全性 | 3－機密性 |
| ウ | 1－機密性 | 2－可用性 | 3－完全性 |
| エ | 1－機密性 | 2－完全性 | 3－可用性 |
| オ | 1－完全性 | 2－機密性 | 3－可用性 |

問3 b ――について、正しくないものを選びなさい。No.18

- ア 知的財産は、小説やイラスト、写真、音楽といった著作物や、発明、考案、デザインなど、人間の創造的活動によって作り出されたものである。
- イ 知的財産に関する利益を保護するための知的財産権には、大きく分けて著作権と産業財産権という2つの権利がある。
- ウ 著作権には、著作物を自分だけのものとして利用できる著作者人格権、著作物がどのように扱われるかを決められる著作財産権がある。
- エ 産業財産権には、発明した人の権利である特許権、物の形や構造などの考案に対する実用新案権、工業デザインなどの意匠権、マークなどの商標に関する商標権などがある。
- オ 著作権は、権利を取得するために申請、登録などの手続きを一切必要とせず、著作物が創られた時点で著作権を自動的に付与するのが、国際的なルールとされている。